

# MODE for Charity

babies and mothers



報道機関 各位

平成22年3月1日

## 3月8日国際女性の日100周年記念 記者発表 MODE for Charity 2010 ～ babies and mothers ～ 始動！ 富永愛 親善大使、ファッションを通して、ザンビアの妊産婦の支援

ジョイセフ(財団法人 家族計画国際協力財団、会長 明石康)は、このたび、MODE for Charity2010～ babies and mothers～のイベント開催に先立ち、賛同人同席のもと記者会見を行います。報道関係者を対象に、下記の要領で開催いたします。

世界ではいま、年間53万6000人の女性が、妊娠や出産が原因で命を落としています。毎日1500人の女性たちが亡くなっているのです。この99%が途上国で起きています。その理由の多くは、日本であれば助かったはずの、栄養失調や栄養不足、劣悪な衛生面、技術と知識のある助産師の不足、保健医療サービスの欠如、病院がない、そのために手遅れになる急患、古い因習などです。

MODE for Charity 2010 babies and mothersは、クオリティ高いファッションやイベントを通し、これらの問題をひとりでも多くの方に知ってもらい、少しでもいい方向に解決しようと立ち上げられたプロジェクトです。約1ヶ月間のイベント開催期間中に集まった寄付や収益は、ジョイセフを通じザンビアの妊産婦支援に活かされます。



### 記

#### 『MODE for Charity 2010 ～ babies and mothers ～』

##### 記者発表

■ 日時：平成22年3月8日(月)午後5:00～6:00

■ 場所：ARK HILLS CAFE アークヒルズカフェ  
〒106-0032 東京都港区六本木1-3-40 ARK HILLS  
カラヤン広場スペイン坂入口 Tel:03-6229-2666  
<http://www.arkhillscafe.com>



1. 世界の女性の現状のご紹介 :石井澄江(ジョイセフ事務局長)
2. MODE for Charity事務局よりイベントの説明、  
富永愛 親善大使より挨拶、賛同人のご紹介
3. 質疑応答(15分)



銀座線・南北線「溜池山王」駅徒歩約4分  
南北線「六本木一丁目」駅徒歩約2分

#### [記者会見 参加申込み・問合せ先]

ジョイセフ(財団法人 家族計画国際協力財団)

広報グループ 小野美智代 携帯 090-6616-7661

電話:03-3268-3454

FAX:03-3235-9774

E-mail: [mono@joicfp.or.jp](mailto:mono@joicfp.or.jp)

# MODE for Charity 2010 —babies and mothers—News

## MODE for Charity 親善大使に富永愛就任

富永愛 <http://www.tominagaai.net/>



2010.4.14 (フレンドリーデー) レセプションパーティ/ファッションショーを披露  
MC: フリーアナウンサー 政井マヤ

### 4.14 ~ 5.8 チャリティーオークション (web特設ページ)

### 5.9 (母の日) オークション結果報告・アフターイベント・アフターパーティ

「毎年4月14日は、フレンドリーデー。世界中みんなが仲良くする日。  
2003年よりフレンドリーデーインターナショナルが、独自のイベントを通し、広く呼びかけている。国内では、東京を中心に開催、海外では、パリ (colette店頭)、カンボジア、台湾で開催経験がある。」



#### ◆賛同著名人 (2010年2月5日現在)

海外:

- サラ・ブラウン 英国首相夫人
- ナオミ・キャンベル モデル
- リヤ・ケベデ (予定) モデル・WHO親善大使
- シャロン・ストーン (予定) 女優

日本:

- 十河ひろ美 25 ans 編集長
- 一色紗英 タレント
- 雅姫 (MASAKI) モデル/デザイナー
- 政井マヤ フリーアナウンサー・タレント

#### ●千野志麻

- 大橋マキ フリーアナウンサー・タレント
- 大葉ナナコ アロマセラピスト
- 青木愛 有限会社バースセンス研究所代表取締役
- 武藤 興子 ヴィリーナ ジャパン 代表取締役
- 甲斐さやか 「ヴィセラ ジャパン株式会社」代表取締役
- 土屋アンナ 映画監督・outsect:art director
- 佐藤琢磨 (予定) タレント/歌手/モデル
- MISIA (予定) 英国親善大使・元F1ドライバー
- 歌手

<<その他、賛同著名人順次決定>>

主催: MODE for Charity事務局

共催: ジョイセフ (財団法人家族計画国際協力財団)、フレンドリーデーインターナショナル

協賛: aromamora、アットアロマ株式会社、ROOTOTE、株式会社エンジェリーベ、株式会社赤ちゃん本舗

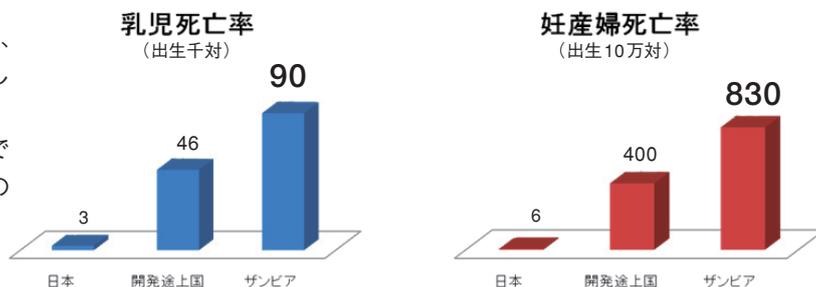
後援: IPPF (国際家族計画連盟)、WHO (世界保健機関)、ザンビア大使館、White Ribbon Alliance (ホワイトリボンアライアンス)

協力: アロマセラピスト大橋マキ、concerge GRAND

※ チャリティで集まった資金により、ザンビアのコッパーベルト州マサイティ郡の女性たちが安全に出産できる環境を作ります。

マサイティ郡の面積は、東京都の3倍に相当しますが、現在、この広大な土地に、医者は1人、助産師は12人しかいません。

妊娠・出産中に異常が起きても、病院までいくこともできず、対応する医療従事者もないため、助かるはずの女性が命を落としています。



## ジョイセフ (財団法人家族計画国際協力財団)

Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning (JOICFP)



(財団法人 家族計画国際協力財団、会長 明石康) は、途上国の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOです。戦後の日本が実践してきた家族計画・母子保健の分野での経験やノウハウを途上国に移転してほしいという国際的な要望を受け、1968年に設立されました。国連、国際機関、現地NGOや地域住民と連携し、アジア、アフリカ、中南米で、保健分野における人材養成、物資支援、プロジェクトを通じた様々な支援を行っています。世界中の妊産婦を守るホワイトリボン・アライアンス (グローバルなネットワーク、本部ワシントンD.C) に加盟し、日本で中心となって支援の輪を広げています。  
ホームページ <http://joicfp.or.jp/jpn>